

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

清須市まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

愛知県清須市

### 3 地域再生計画の区域

愛知県清須市の全域

### 4 地域再生計画の目標

本市の人口は一貫して増加を続けており、住民基本台帳によると2015（平成27）年に67,327人となっています。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると今後増加を続けて2025（令和7）年にピークを迎えますが、以降は緩やかに減少し、2045（令和27）年の人口は66,080人になることが見込まれています。

年齢3区分別人口の構成比においては、2015（平成27）年から2045（令和27）年にかけて、年少人口（0～14歳）は14.2%から13.3%と1.1ポイント減少し、生産年齢人口（15～64歳）は62.7%から57.3%と5.4ポイント減少し、老年人口（65歳以上）は23.1%から29.4%と6.3ポイント上昇するなど大きな変化が見込まれ、少子高齢化が進むことが懸念されます。

自然動態について、出生が死亡を上回る状況（増加）が続いていますが、その差は小さくなる傾向です。2018（平成30）年には131人の自然増となっています。また、2008～2012年の合計特殊出生率を見ると、本市の値は「1.63」と、全国平均「1.38」や愛知県平均「1.51」と比べて比較的高い水準にあります。

社会動態について、転出や転入等に伴う社会増減数については、経済動向や社会的な出来事の影響で年によって大きな変動があります。特に東海豪雨によりこの地域が甚大な被害を受けた2000年は、転出が転入を大きく上回っています。なお、市町村合併により清須市となった2005年以降は、おおむね転入が転出を上回る（社会増）年が多くなっており、2018（平成30）年には91人の社会増となっています。

前段のとおり人口は現在増加傾向にあるものの、将来的には人口減少する見込みであり、また少子高齢化の進行も懸念されるところ、地域社会の中でも様々な影響が懸念され、若い世代が減少することによる担い手不足による地域産業の衰退や高齢化の進展による社会保障等の負担増により、行政サービスの低下や社会基盤の維持が困難となるといった課題が生じます。

こうした将来の状況を見据えて、人口に関する問題に的確に対応して、今後も持続的なまちの発展を実現するため、本計画において次の3つの基本目標を定め、その一体的な推進を図ります。

基本目標1 定住する若い世代をふやす

基本目標2 市の「強み」を生かして経済効果を生む

基本目標3 人を育て・つなげて地域を活性化する

### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度 )	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	住民基本台帳に基づく20歳代～40歳代の人口数	28,410人 (2019(平成31)年1月)	28,410人 基準値を維持 (2025(令和7)年1月)	基本目標1
	今後もこの地域で子育てしていきたいと思う3歳児の保護者等の割合	96.9% (2018(平成30)年度)	96.9% 基準値を維持 (2024(令和6)年度)	
イ	市内の創業比率	3.96% (2014(平成26)年～2016(平成28)年)	4.99% ※目標値測定時点での県平均との差を少なくとも0にする。	基本目標2

			(2024 (令和6) 年を含む 経済センサス 実施期間)	
	市内の民営事業所数	2,495事業所 (2016 (平成28) 年6月1日)	2,495 事業所 基準値を維持 (2024 (令和6) 年を含む経 済センサス実 施期間)	
	市内の民営事業所の従業者数	28,535 人 (2016 (平成28) 年6月1日)	28,536 人 基準値を増加 (2024 (令和6) 年を含む経 済センサス実 施期間)	
ウ	地域のつながりを感じている市民の割合	37.1% (2018 (平成30) 年度)	37.2%以上 基準値から 増加 (2023 (令和5) 年度) ※市民満足度 調査実施年度	基本目標 3
	ブロックや自治会等の活動に参加している市民の割合	39.0% (2018 (平成30) 年度)	39.1%以上 基準値から 増加 (2023 (令和5) 年度) ※市民満足度 調査実施年度	

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2 及び 5-3 のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する  
特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

清須市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 定住する若い世代をふやす事業

イ 市の「強み」を生かして経済効果を生む事業

ウ 人を育て・つなげて地域を活性化する事業

#### ② 事業の内容

ア 定住する若い世代をふやす事業

保育・幼児教育と放課後等における活動の場についての利用ニーズを確実に充足に加えて、妊娠・出産期から子育て期を過ごす方が、ワンストップで情報を得ることができ、必要なサービスを必要なときに受けることができる環境づくりを強化する。

また防災や防犯の観点では、ハード面の整備とともに、ニーズに応じた情報発信や、地域の防災活動に参加しやすい仕組みづくりを進めていく事業。

#### 【具体的な事業】

- ・多様化する保育・幼児教育ニーズへの対応
- ・子育て世代包括支援センターの地域への定着
- ・防災や防犯に関する情報について、多様な媒体による情報発信 等

イ 市の「強み」を生かして経済効果を生む事業

市内での創業に対する支援や、中小事業者の経営基盤の強化に向けた取組を進める。

また、清洲城や朝日遺跡をはじめとした豊富な歴史資源・観光資源な

どを活用し、来訪客の増加を経済効果につなげるため、観光地域づくりを推進する。

加えて、豊富な歴史資源・観光資源などを活用して、市内における製造品等のブランディングを推進する。

観光地域づくりやブランディングの推進にあたっては、より効果的な情報発信の仕組みづくりを進める。

#### 【具体的な事業】

- ・創業支援セミナーや中小事業者を対象とした講習会等の開催
- ・「あしがるサイクル」の整備
- ・オリジナル土産品の開発
- ・観光情報の効果的な発信 等

#### ウ 人を育て・つなげて地域を活性化する事業

様々な分野において、地域で中心的な役割を担っていく人材の育成を推進する。

加えて、人材同士がつながり、様々な情報を共有する場づくりを進める。また、市の行政運営にあたっては、市民参加を支援・促進するとともに、行政と市民の交流の場づくりを進める。

#### 【具体的な事業】

- ・各種養成講座等の開催
- ・市民参加・市民協働を促進するための情報発信
- ・情報を共有するための機会づくり
- ・職員向け研修の実施 等

※なお、詳細は清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2020 のとおり。

#### ③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

#### ④ 寄附の金額の目安

100,000 千円（2021 年度～2024 年度累計）

#### ⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

##### 【検証方法】

清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2020 の検証機関である、清須

市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議において、事業の検証を行う。

3月末時点のK P I の達成状況について、事業実施年度の翌年度6月までに清須市がとりまとめた上で、毎年度7月に清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議で検証を行う。

**【外部組織の参画者】**

事業の検証を行う清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議には、学識経験者、産業関係団体の代表者、行政機関の代表者、教育機関の代表者、金融機関の代表者、労働関係団体の代表者、司法書士が委員として参画している。

**【検証結果の公表の方法】**

毎年度、検証後速やかに結果を清須市ホームページで公開する。

**⑥ 事業実施期間**

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで

**5-3 その他の事業**

該当なし

**6 計画期間**

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで